

第6回



:6月14日(金)「守っTelテーマ」

下げて防ぐ、 熱中症と特殊詐欺！



キャッシュカードが狙われる

特殊詐欺被害の多くは、キャッシュカードがだまし取られています。

○ 被害金交付形態ワースト3

令和元年5月末現在 (暫定値)

- ・キャッシュカード手交型 68%
- ・現金手交型 11%
- ・電子マネー型 11%

平成30年中 (被害件数257件)

- ・キャッシュカード手交型 58%
- ・現金手交型 19%
- ・電子マネー型 10%

※キャッシュカード手交型には、キャッシュカードすり替え型を含めています。

キャッシュカードの利用限度額を下げましょう

キャッシュカードの1日当たりの利用限度額を下げれば、万が一、キャッシュカードをだまし取られても、被害を最小限に抑えることができます。

○ 犯人がキャッシュカードで引き出した現金 (1件当たりの平均額)

令和元年5月末現在 (暫定値)

- ・約64万円

平成30年中

- ・約170万円

キャッシュカードをあまり使わない方や、一度に多く出金しない方は、利用限度額を下げましょう。0円まで下げることができます。

利用限度額の変更は、インターネット、金融機関の窓口やATMで受け付けています。詳しくはご利用の金融機関にお問合せください。



☆ キャッシュカード1枚につき、5万円の引き出しで済んだ例があります。

いろいろ下げてもらおう！

祖父母や両親等大切な人の体調を気遣い、夏の熱中症対策として、冷房機器や冷却グッズで室温を適度に下げようとする注意喚起するとともに、特殊詐欺被害から財産を守るため、キャッシュカードの利用限度額も下げるように勧めてください。

もちろん、他人にキャッシュカードを渡したり、暗証番号を教えないことが1番ですが・・・。

